

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 23.4.13 第 177 回国会第 8 号

4月13日(水) 第8回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・鹿野農林水産大臣、筒井農林水産副大臣、田名部農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

加藤 学君(民主)

- ・3月12日に長野県北部で発生した地震により、甚大な農林業被害を受けた米村に対し、東日本大震災への対応と同様の位置付けで復旧支援を行うべきと考えるが、農林水産省はどのように考えているのか。
- ・福島原発事故の発生に伴う日本産食品に対する各国の輸入規制措置や検査強化について、農林水産省はどのように対応しているか。また、輸出への影響をどのように見込んでいるか。
- ・福島原発事故の発生に伴い、農作物の出荷制限が長期化することで需給バランスが崩れ、野菜の価格に影響が出ることが考えられるが、農林水産省はどのように考えているか。

中野渡 詔子君(民主)

- ・漁船による漁場での瓦礫処理については、技術的に難しい面があるが、どのように対応するのか。
- ・米の生産数量目標に係る県間調整について、震災により農地被害が生じた宮城県が2,000haの作付枠を他県に譲ると聞いているが、どの県が引受けを希望しているのかを含め、現在の調整状況はどのようなものか。
- ・津波で被害を受けた農地の除塩対策について、塩分濃度に応じてどのように対応するのか。また、除塩作物としてどのようなものがあるのか。

谷 公一君(自民)

- ・福島第一原発からの放射能汚染水の海への放出(4月4日)について、農林水産大臣は事前に知らされなかったとのことであるが、これを容認した経済産業大臣に強く抗議すべきだったのではないか。
- ・「計画的避難区域」に指定(4月11日)された区域内の家畜はどのように取り扱うのか。
- ・地域水産業再建のマスタープランを早急に策定すべきと考えるが、いつまでに策定するのか。

永岡 桂子君(自民)

- ・福島原発事故の発生に伴う風評被害に係る損害賠償問題について農林水産大臣はどのように取り組むのか。
- ・東日本大震災による用水路等の被害状況及び復旧に要する期間についてどう認識しているのか。
- ・事業仕分けで飼料穀物の備蓄量が半分に削減することとされたが、東日本大震災を踏まえ、見直しが必要ではないか。

石田 祝稔君(公明)

- ・瓦礫処理による被災漁業者の雇用対策を平成23年度第1次補正予算で実施することについて農林水産省はどのように考えているのか。
- ・原子力損害の賠償に関する法律に基づき設置された原子力損害賠償紛争審査会は、どのようなことをいつまでに決定するのか。
- ・「計画的避難区域」と「緊急時避難準備区域」における稲の作付けについての農林水産省と福島県の認識の相違については、地元への説明不足が原因と考えるが、農林水産大臣はどのように考えているのか。

小里 泰弘君(自民)

- ・東日本大震災からの復興に関する自民党の提言について、農林水産大臣はどのように認識しているのか。
- ・被災地の農林水産業の復興・再生に向けて、農林水産大臣はどのような理念で取り組むのか。
- ・東日本大震災を踏まえ、農林水産大臣は今後T P Pにどのように対応するのか。

吉泉 秀男君(社民)

- ・福島第一原発からの放射能汚染水の海への放出について政府はどのように決定したのか。
- ・「計画的避難区域」の畜産農家の移転先を国が責任を持

って提供する必要があると考えるが、農林水産省はどのように対応するのか。

2 委員派遣承認申請に関する件について協議決定しました。